

事業実績シート（研修及び調査・研究）

第5号様式の2

1 事業の概要

協会事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input checked="" type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC） <input type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体（団体） 事業名				
所管局部課	自治体（団体）名	所管部・課名	担当者名	連絡先（TEL）
	佐世保市	総務部職員課	塩見 浩子	0956-68-3208
事業期間	開始年	昭和62年 4月 1日（31年目）		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	（開始日）平成29年6月26日		（完了日）平成30年3月2日	
委託した場合の 委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先（TEL）
	（委託内容）			
研修及び調査・ 研究の目的 ※実施前に予想し ていた目標・目的を 記載してください。	対象（誰を・何を）		目標・目的	
	佐世保市職員		高度で専門的な知識や能力を習得することにより、 市民サービス（行政サービス）の一層の向上を図る	
研修及び調査・ 研究の具体的 内容 ※事業をまったく 知らない人でも、事 業の実施内容や実 施方法の概要が分 かるように入力し てください。	財団法人全国市町村研修財団の所管する市町村職員中央研修所において開講されている市町村職員を対象とした職員研修に職員を派遣し、地方税やまちづくり、監査など、地方行政に関する高度な研修を受講することで、職員の専門的知識の習得を図り、市民サービス（行政サービス）の一層の向上を目指すもの。 当該助成事業は、市町職員が受講のために要する旅費及びその他の諸経費について、市町に対してその一部を助成することにより、当該研修所研修の受講を促進し、住民サービスの向上を図ることを目的としたものである。			
研修及び調査・ 研究の背景、こ れまでの経緯及 び現状	（事業開始の背景）			
	昭和62年度に、専門性の高い知識・スキルや最先端の政策情報の提供、全国的なネットワークの形成を目的として市町村職員中央研修所が開設されたことを受け、効率的かつ効果的な行政運営を目指して、当該研修所への派遣を行ってきている。			
	（経緯・現状）			
	地方分権の進展や市民ニーズの多様化などにより、職員に求められる知識や能力について、高度で専門性の高いものとなってきていることから、当該研修所への派遣職員数についても一定数以上を確保し、職員の能力向上に努めてきている。			

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		1,767,779	1,465,126	1,271,458				
（財源内訳）	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	地方債その他特財							
	市町振興共同事業助成金	1,178,511	976,745	847,631				
	一般財源	589,268	488,381	423,827				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	27年度	28年度	29年度
	①	市町村職員中央研修所 派遣職員数	年度内派遣職員数	人	目標	24	19	21
					実績	23	21	19
					目標達成率（%）	95.8%	110.5%	90.5%
	②				目標			
					実績			
目標達成率（%）								

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>当該研修所へ職員を派遣することで、専門性の高い知識・スキルや最先端の政策情報を収集でき、全国的なネットワークの形成の場を確保することができる。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	（１）目標（目的）指標の達成状況	
	<input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
有効性の点検	（２）実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	目標 21 名に対して、実績 19 名の派遣となり、派遣目標を達成することができなかった。 理由としては、同じ研修に複数名の受講希望があり、市町村アカデミーに受講申込を行っていたところ、定員オーバーにより受講不可となった研修があったため、目標数を下回ったもの。なお、今後は、受講不可が発生した場合は、別研修の受講を検討することとしたい。	
実現性の点検	（１）事業への反映	（具体的内容）
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	職員が専門的知識を習得することにより業務の資質向上につながる。
	（２）公益性の評価	（具体的内容）
	本研修及び調査・研究を通じて <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	研修を受講し、専門性の高い知識を習得することで現状を分析・検証し、業務の質の向上や市民サービスの向上を図る。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施（予定）時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	市民サービス（行政サービス）の向上に直接つながる事業ではなく、間接的な効果を求める事業であるが、当該事業の効果は高く、他に代わる研修機関もないことから、当該事業については継続（現状維持）する必要があると考えられる。				